

誤嚥性肺炎の治療を受けられる患者様へ()様 主治医()担当看護師()						
月日		～	～	～	～	～
経過(病日)	入院日	2～3日目	4～5日目	6日目	7～9日目	10～14日目
目標	①治療内容が理解できる ②入院生活が理解できる	①お熱が出ない	①痰が少なくなる ②息苦しさが軽減する ③発熱の苦痛、全身の怠さが軽減	症状が安定している	再発予防についての注意点がわかる	退院後の注意点が理解でき 不安なく退院を迎えることができる
薬剤	持参薬は看護師にお渡し下さい 入院中に飲むお薬は病院からお渡します					
注射	点滴を行います		→ 症状に応じて点滴は終了します			
処置	症状に応じて尿の管を入れます		→ 症状の応じて尿の管は外します			
検査	症状に応じて採血・レントゲンなどの検査をします					
安静度	血液検査の結果や発熱の状況に合わせて安静度を拡大していきます					→
食事/水分	制限はありません 必要時に嚥下評価や嚥下訓練を行います				→	朝食後の10時に退院となります
看護	感染予防のため、病棟外へ行かれる際にはマスクを着用し、うがいを行って下さい 必要時にお口の中の状況を確認します 病状に合わせて清拭かシャワーに入ってください	生活習慣での問題点を一緒に考えます 				
リハビリ		生活習慣での問題点を一緒に考えます 必要に応じて日常生活での注意点を教えます				
観察	呼吸状態などを含めた全身の状態を観察します 病状に合わせ酸素吸入や心電図モニターを装着します		→ 症状に応じて酸素吸入や心電図モニターは外します			
説明	★持参薬がある場合、看護師へ提出してください ★主治医からの病状と治療計画について説明があります 時間調整を行いますので担当看護師に御確認下さい ★看護師から入院生活についての説明があります ★薬剤師から点滴や内服薬についての説明があります				主治医から病状について退院後の療養について説明があります	退院時次回の外来受診日を説明します 退院後は規則的な生活習慣を心がけて下さい 息苦しさをや体の怠さ、発熱などの症状があればすぐに相談か受診をしましょう

患者様の状態により変更する事がありますのでご了承下さい。なおご不明な点がございましたら遠慮なくスタッフにご相談下さい。
 三菱京都病院 総合内科 2018.6 作成